

計測・制御・システム工学部会シンポジウム（制御技術部会併設）

「量子ビーム・電磁波利用による材料製品評価技術のフロンティア」開催案内

日本の鉄鋼業は高級鋼材など材料・製品の高品質化により国際競争力の維持・強化を図っている。このような背景の中で、高付加価値製品の製造、鉄鋼プロセスの安定性向上等に貢献しうる高度な計測・検査技術が強く求められている。

本シンポジウムでは、今後の鉄鋼材料開発や鉄鋼プロセスへの適用が大いに期待される、量子ビーム（X線、中性子線など各種放射線）や各種電磁波を利用した最先端の材料・製品の評価技術の研究事例についてご紹介頂く。また、ご紹介頂く技術の鉄鋼分野への活用方法や、活用を図る上での課題などについても、幅広く議論していく。

1. 主催：（社）日本鉄鋼協会 学会部門 計測・制御・システム工学部会
／生産技術部門 制御技術部会

2. 協賛：調整中

3. 日時：2008年6月11日（水）13：00～17：15

4. 場所：住金マネージメント（株）人材開発センター（茨城県鹿嶋市光953-16）

5. プログラム

座長：長田典子（関西学院大）、永田泰昭（新日鐵）

13：00～13：05	開会の挨拶とシンポジウム趣旨説明	長田典子（関西学院大）
13：05～13：50	電磁超音波法による鉄鋼材料・製品の評価	村山理一（福岡工大）
13：50～14：35	テラヘルツ波を用いたイメージング技術	川瀬晃道（名大）
14：45～15：30	陽電子消滅技術による材料評価技術	白井泰治（阪大）
15：30～16：15	放射光を用いた鉄鋼材料・介在物評価技術	中井善一（神戸大）
16：15～17：00	中性子線利用による残留応力計測技術	鈴木裕士（原子力機構）
17：00～17：15	総合討論	

6. 定員：80名

7. 参加費：会員2,000円、非会員3,000円（参加費、消費税込）

8. 参加申込：

シンポジウムへ参加される方は、事前にFAXあるいはE-MAILで氏名・会員番号（非会員の方は不要）・勤務先・所属・住所・電話番号・FAX番号・E-mailを明記の上、下記事務局までお申し込み下さい。なお、定員内であれば申込受付の確認の連絡は致しませんのでご了承下さい。

9. 申込期限：2008年5月26日（月）

申込み・問い合わせ先：

（社）日本鉄鋼協会 学会・生産技術部門事務局学術企画グループ 皆川

TEL.03-5209-7013 FAX.03-3257-1110 E-mail:minakawa@isij.or.jp